昭和61年　第990号
2月16日

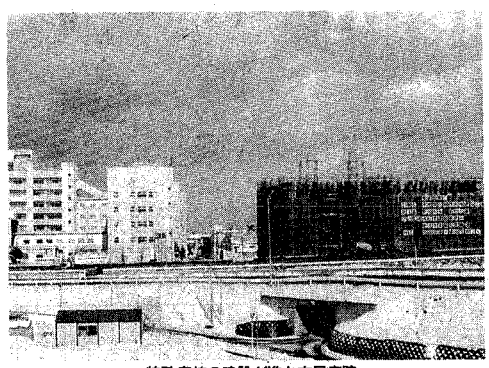
市報
にいがた

市の人口
人口　467,866(+149)
男　228,054(+ 39)
女　239,812(+110)
世帯数　152,697(+ 6)
61年1月末現在

発行日　毎週日曜日
発行所　新潟市役所
新潟市西堀通6番町
866
電話(28)1000
編集　企画部広報課
印刷所　㈱第一印刷所

市民病院第三期工事
特殊病棟を建設中

本格的な救急医療体制の確立を目指している市民病院(笹川力院長、五百二十床)では、救命救急センターや新生児医療センターなどの特殊病棟を建設する第三期工事が急ピッチで行われており、五階建ての新館棟が姿を現しました。第三期工事は昨年六月にスタートし、三カ年継続事業で総工費は三十三億二千万円。この特殊病棟建設に合わせて既設棟の増改築も行われます。オープンは六十二年度です。


特殊病棟の建設が進む市民病院

第三期工事は病院東側の敷地約四千六百平方㍍に鉄筋コンクリート造り五階建て延べ床面積七千八百平方㍍の新館棟を設け、今の東病棟三階に新館棟一階には「伝染病隔離病棟」(三十床)、一般病棟(三十六床)、救急処置室などを設け、念願の救命救急センター」は二階に入ります。三階は医局や研究室、四・五階は各六十床の一般病棟になる予定です。

東病棟三階に新生児医療センター

新館棟は、二階までが今年三月に、残りの三―五階は六十一年度中に完成します。

「救命救急センター」の患者受け入れは、六十一年度に医療機器などを整備するため、六十二年度からになります。

救命救急センターについては、長岡赤十字病院に次いで県内では二番目の設置になります。各専門科が二十四時間体制で救急医療に当たり、救急指定病院でも手に負えない重症患者を診療することができるようになります。

「伝染病隔離病棟」については、市民病院との統合が懸案であった大山台診療所併設の施設を移転、新設するものです。

また、東病棟三階に新設する「新生児医療センター」は六十一年度に造り、救命救急センターなどと同時オープンの予定です。

新生児医療センターの設置は、生命に危険のある未熟児を含めた異常新生児を集中的に治療することになります。特に、ドクターズカーの導入により、救命率の向上と障害出現の予防に大きく貢献できるものと期待されます。

新生児医療センターと救命救急センターの設置により、市民病院は小児から大人までの総合的な救急医療体制が整い、下越地区全体を対象とした基幹病院としての使命も果たせます。

経済交流で調印
飼料買い付けなど盛る
新潟　ハルピン

新潟市経済代表団(団長・鶴巻　正収入役、二行八人)が一月二十五日から二月三日まで中国を訪問、ハルピン市関係者と会談を持ち、新潟・ハルピン両市間の経済・技術交流を発展させるための協議書を交わしました。

協議書の内容は①経済・技術交流の窓口として、双方に「経済・技術交流促進協会」を新設する②四月に李嘉廷副市長を団長とする「ハルピン経済代表団」が新潟市を訪問する③新潟市から飼料や肥料買い付けの商談のため、業界関係者がハルピン市を訪問する④ハルピン市の電話事業に新潟市側が協力する――の四点です。

両市に設けられることになった「経済・技術交流促進協会」は情報交換の窓口となるだけでなく、必要に応じ相互に合同会議を開催し、経済・技術交流の将来計画を検討するほか、関係企業への働きかけや必要な援助を行うものです。

飼料、肥料の買い付け商談のため、ハルピン市を訪ずれるのは市飼料卸商組合。中国から羊革などを買い付けたいという同組合の要望をハルピン市が受け入れ、商談のため訪問することになったものです。

また、代表団はハルピン市の建設、商業、経済、銀行の四委員会と個別会談を行い、ハルピン市側から合資合作経営の基本的な考え方や輸出商品目録なども提示されました。

ハルピン市で行われた協議書調印式

所得税、市・県民税
申告は明日から

所得税の確定申告と市・県民税の申告受け付けが、明日、十七日から始まります。申告期間は三月十五日までです。

毎年期限近くになりますと大変混雑します。該当する人は、早めに申告をしましょう。

〈問い合わせ先〉
所得税…新潟税務署(☎29―二一五一)
市・県民税…市役所市民税課
※市役所本庁舎の申告受け付けは、明日から二月二十二日までは五階の市民税課で、二十四日以降は八階会議室(八〇一・八〇二号室)で行います。お間違いのないようにおいで下さい。

未納市税の日曜相談

日時　今日(16日)、23日
午前10時～午後3時

場所　納税課(本庁舎4階)

「市報と私」をテーマに原稿募集

「市報にいがた」が四月二十七日で通算一千号を迎えます。「市報にいがた」では、これを記念して、四月二十七日に一千号記念特集号を発行します。

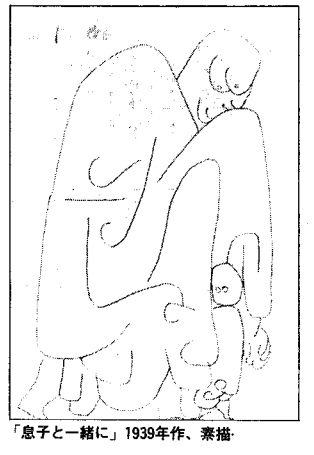
この特集号では、「市報と私」と題した市民の皆さんの意見特集も企画しています。

市報にまつわる思い出、こんな利用法がある――など、市報に関するあなたのご意見をお寄せ下さい。

応募方法　三月二十二日(必着)までに、ご意見を四百字以内にまとめ、住所、氏名(原則として匿名は不採用)、年齢、連絡先電話番号を記入し、市広報課「市報と私」係(〒951　西堀通六―八六六)へ。

掲載　四月二十七日発行の市報「一千号記念特集号」に掲載します。採用分には薄謝を進呈。

パウル・クレー展 ⑤
3月16日まで開催


「息子と一緒に」1939年作、素描

クレーがまだ無名のころ、家計は妻がピアノの指導で支え、彼は家事や育事を受け持ち、その合間に絵を描いていました。ひとり息子のフェリックスが病気になったとき、クレーが日記に残した克明な子供の体温表は、彼がいかに深い愛情と細心の注意をもって、幼い我が子の世話に当たったかを、今日に伝えています。

見下ろす父親と振り返る子供。見守り保護し、いつくしむ者と、守られつつ外の世界を探り、足を踏みだし、やがて成長していく者という親と子の関係を、死の前年のクレーの簡素な線は、印象的に描きだします。

(新潟市美術館)

観覧料　一般七百円、大・高生五百円、小・中学生三百円　開館時間　午前九時～午後四時半　休館日　月曜日

第80回市民健康教室
乳幼児の心の発達と遅れ

日時　二月二十六日午後一時半(約一時間)
会場　中央公民館四〇五号室
定員　五十人
講師　小泉　毅(市医師会)
申し込み　二月二十六日正午までに、電話で保健衛生課(内線三六九、五八四四番)へ

くらしの1日教室
「知っておきたい年金の知識」

日時　2月26日午前10時～正午
会場　中央公民館
定員　先着40人
申し込み　9時17分から電話で消費生活センター(☎28―8100)へ

電話加入権の公売

日時　2月19日午前10時
会場　市役所601会議室(本庁舎6階)
その他　買い受け代金は午後1時までに現金で納付。電話局での権利移転手続きには、住民票と印鑑が必要です。
問い合わせ　納税課へ

市水洗便所工事主任配管工 資格試験

日時　3月20日
会場　中部下水処理場
受験資格　市水道局の給水工事主任配管工の有資格者
申し込み期間　2月19日～28日
申し込み先　下水道管理課(分庁舎6階)

電話案内

市役所	…28―1000
教育委員会	…28―6111
教育課	…29―6633
体育施設管理センター	…66―8111
火災の場所を知りたいとき	…24―1111
市民病院	…41―5151
園芸センター	…86―1034
東保健所	…43―5311
石山地区保健センター	…86―4450
鳥屋野地区保健センター	…85―2373
北地区保健センター	…59―7332
西保健所	…66―5171
西地区保健センター	…62―3405
坂井輪地区保健センター	…60―3255
市医師会休日急患診療センター	…31―4135
県歯科医師会休日歯科診療センター	…83―3030